

佐世保市立清水小学校

〒857-0031

佐世保市保立町10番1号

校長 沖島 宏幸

児童数 424名

学級数 17学級



《めざす子ども像》

(し) しっかり考える子 (み) 自らよく行う子 (ず) すこやかな子

1 目的

(1) 学力向上、よりよい学校生活を送るための調査及び相談活動

教師の視点、親の視点に加え、各種調査及び相談活動を含めるなど多方面から子どもを分析し、支えることで、子どものよりよい学校生活の充実に努める。

(2) 地域の「ひと・もの・こと」を生かした教育活動の創造

地域とともに歩む学校づくりをめざして、地域の「ひと・もの・こと」を生かした教育活動を充実させるとともに、地域を愛し、地域に貢献できる子どもの育成を図る。

(3) 校舎の特色を生かした環境美化活動、ボランティア活動の充実

オープンスペースや校舎の配置を生かした環境整備、環境美化に努める。

2 実践内容

(1) 算数科教育の充実

本校では「わかる喜び・できる楽しさを実感し、主体的に学ぶ清水っ子の育成」を研究主題に、副主題を「数学的な見方・考え方を深める算数科学習を通して」と設定し、研究を深めた。昨年度の研究を踏襲しさらに深化させるために「わかる喜び・できる楽しさを実感する授業」「視覚化・焦点化・共有化」を踏まえ、「学びを深める場の設定」「説明力（国語力）の向上」を加えた算数科の授業づくりに取り組んだ。



授業研究については、主に「（対話による学びの深化）」の手立てについて研究を深め、基本的な授業スタイルが確立されてきた。学びを深めるために、清水タイムの充実、学習規律や家庭学習の徹底などを図った。環境整備については、家庭学習チェックカードや自主学習への取組の充実など、基本的な学習の進め方について整理することができた。

（２）地域の「ひと・もの・こと」を生かした教育活動の創造

① １学年 【森のわくわくランド（生活科）】

１年生がおもちゃを作り、幼稚園児保育園児を招待する「森のわくわくランド」を実施した。１年生は、事前に２年生による「おもちゃランド」によっておもちゃの作り方や、遊び方の説明、お世話の仕方について学ぶことができていたため、上手にお世話をすることができた。



② ２学年 【レッツゴー 町たんけん（生活科）】

２年生では、校区内の町たんけんに取り組んだ。普段、自分たちが生活している地域のよさを発見するねらいで、子どもたちはそれぞれに自分が探検したい場所を話し合い、その場所ごとにグループづくりを行った。その場所は「宮田町コース」「俵町コース」となった。そのコースごとにあるお店や公園、そして自然などに目をむけ、調べ活動に取り組んだ。

お店の人に対するインタビューの仕方、調べてきたことのまとめという学習は３年生の総合的な学習へ向けたよい内容となった。



③ 3学年 【清水の町のバリアフリー（総合的な学習の時間）】

地域や身の回りにあるバリアフリーを考えて課題をもち、グループごとに調べてまとめることができた。すべての人が自由に出かけて、移動することができるようにさまざまなバリアフリーが工夫されていることに気づくことができた。



④ 4学年 【環境学習・清水エコ作戦（総合的な学習の時間）】

4年生は、佐世保エコプラザにご協力いただき環境学習を行った。エコ作戦を通してエネルギーや環境の問題点に気づき、課題や解決方法を考え、実践することができた。



⑤ 5学年 【地域のよさを発見しよう（総合的な学習の時間）】

5年生は、俵町商店街や校区内の公共施設や工場、小売店など9カ所の事業所からゲストティーチャーとして来ていただき、職業講話をしていただいた。自分が住む地域のよさを見つめ、地域とのつながりを深めるとともに将来の憧れをもつことができるよい機会になった。



⑥ 6学年 【佐世保未来プロジェクト（総合的な学習の時間）】

わが町「佐世保」のよさやすばらしさについて調べ活動を実施した。
佐世保市企画部政策経営課からゲストティーチャーを招き、佐世保市の取組の説明をうけ、佐世保市の未来について考えた。

SDGsをテーマに観光、自然、特産物、人口、歴史・伝統、産業、グルメ、坂道のチームに分かれ、調べ学習を進め、内容をプレゼンテーションにまとめ発表会を実施した。

ふるさと佐世保のよさと自分がどのように関わっていくべきかを考え、地域や人とのつながりを深めることの大切さを改めて学ぶことができた。



3 さいごに

学校教育目標及び重点目標「確かな学力向上と定着」「家庭・地域との連携」をめざし、学力向上、地域の「ひと・もの・こと」を生かした教育活動に取り組んでいる。コロナ禍の状況ではあるが、活動内容や方法を工夫して取組を継続することによって、児童は地域のよさを実感し、たくさんの地域の方々に支えられていることに気づくようになってきた。そして、感謝の気持ちをもつとともに、自分たちのふるさとを大切にしていこうとする気持ちも育ちつつある。今後もさらなる充実、発展を目指して実践を継続していきたい。